

給湯・シャワー付

ガスBFふろがま

531-N916/N917 型

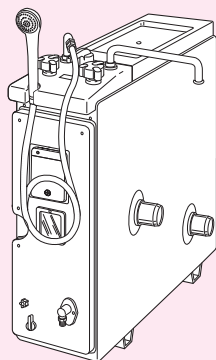
531-N920/N921 型

< BL 認定品 >

型式名

GBSQ-621D

GBSQ-821D



(531-N920型)

もくじ

必ずお守りください(安全上の注意).....	2
各部のなまえとはたらき.....	8
初めてお使いになるときは.....	9

お風呂を沸かす・追いださる.....	10
シャワー・出湯管からお湯を出す.....	12
お湯の温度を調節する.....	14
洗面所などでお湯を出す(給湯配管してある場合).....	15

凍結による破損を予防する.....	16
日常の点検・お手入れのしかた.....	18
法定点検について.....	20
故障・異常かな?と思ったら.....	22
アフターサービスについて.....	24
主な仕様.....	25
保証書.....	裏表紙

まず
はじめに

使いかた

必要なときに

取扱説明書 保証書付

大阪ガス

このたびは大阪ガスの給湯・シャワー付ガスBFふろがまをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
*この取扱説明書をよくお読みになって、正しくご使用ください。なお、ご不明な点があればお買い上げの販売店にお
問い合わせください。

*保証書の内容もよくお読みいただき、保証期間・保証内容などを確かめてください。

*この取扱説明書(保証書付)はいつでもご覧になれるところに保管してください。

SBA8635



SBA8635

必ずお守りください(安全上の注意)-1

お使いになる方や他の方への危害・財産への損害を未然に防止するために、つぎのような区分・表示をしています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、内容をよく理解して正しくお使いください。

危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
お願い	安全に快適に使用していただくために、理解していただきたい内容を示しています。

危険

ガス漏れに気づいたときは、

1. すぐに使用をやめる
2. ガス栓を閉める
また、メーターの
ガス栓も閉める
3. 窓や戸を開ける
4. 販売店または、もよりの
大阪ガスに連絡する



ガス漏れ時は、絶対に

- ・火をつけない
- ・電気器具のスイッチの入・切をしない
- ・電源プラグの抜き差しをしない
- ・周辺の電話も使用しない



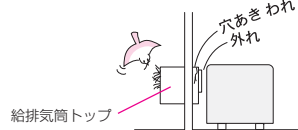
火や火花で引火し、
火災の原因になります。



給排気筒トップが外れたり、穴があいたり、詰まった状態で使用しない



気づいたときはただちに使用を中止し、販売店または、もよりの大阪ガスに連絡してください。排気ガスが室内に漏れて、一酸化炭素中毒の原因になります。



- ・たね火が点火しないときや、途中で消えたとき
- ・本火着火しないとき
- ・器具栓つまみを戻しすぎてたね火を消してしまったとき



このようなときは、

1. 器具栓つまみを「0」に戻す
2. 5分以上待つて、電池確認ランプが消灯していることを確認してから点火操作をする
(電池確認ランプが点滅している間は使用できません)

すぐに点火すると機器内に残ったガスに異常着火し、大きな音がして機器が変形することがあります。変形によるすき間ができたときは、使用をやめ修理を依頼してください。そのまま使用すると排気ガスが漏れて一酸化炭素中毒の原因になります。たね火点火から本火着火のときに、3秒以上たっても本火着火しなかったり、たね火点火のときに点火しにくかったりすることがたびたび発生する場合は、修理が必要ですので、販売店または、もよりの大阪ガスに連絡してください。

警告

やけど予防のため、以下のことに気をつける



入浴前には、充分お湯をかきまぜる

おふろ沸かし中や沸かしたあとは、浴槽のお湯の温度が上部と下部では、相当の温度差があります。

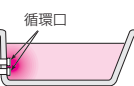


浴槽の湯温を手で確認してから入浴する

浴槽のお湯が場所によって高温になる場合や、うっかり追いきすぎで高温になる場合があります。



おふろを沸かしているときは、循環口付近が熱くなるので手や体を近づけない



シャワーなどお湯の使用時は、手で湯温を確認してから使用する



シャワーなどお湯を使用中に、トイレの水を流すなど大量の水を使用すると、水道の水圧が下がり、熱いお湯が出る場合があるので注意する

シャワーホースを折り曲げるなど変形させて使用しない

お湯の量が少なくなるため、熱いお湯が出る場合があります。

長時間の追いだきや長時間たね火をつけたままにしたあとにお湯を使うと、熱いお湯が出る場合があるので注意する

お湯が体にあたらないよう充分に注意してください。

以下の場合にも熱いお湯が出る場合があるので注意する

- ・お湯をいったん止めて再度使用する場合
- ・高温のお湯を使った直後
- ・湯量を急に少なくした場合
- ・夏場など水温の高いときにお湯を少しだけ使おうとした場合

地震、火災などの緊急の場合は、次の手順に従う



1. 器具栓つまみを「0」にする

2. ガス栓を閉める



3. 【給湯配管してある場合】
給水元栓を閉める

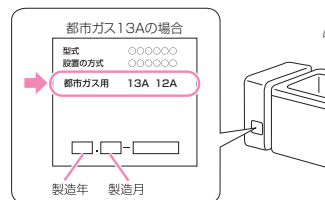


点火しない場合または、使用中に異常な臭気、異常音、異常な温度を感じた場合や、使用中で消火する場合は、ただちに使用を中止しガス栓を閉める

使用中に異常があった場合は、「故障・異常かな? と思ったら」(P22~23)に従い処置をする

上記の処置をしても直らない場合は、使用を中止し、販売店または、もよりの大阪ガスに連絡する

必ず銘板に表示のガスで使用する



表示のガス種が一致しないと、不完全燃焼による一酸化炭素中毒になったり、爆発点火でやけどしたり、機器が故障する場合があります。特に転居した場合は、必ずガスの種類が一致しているかどうか確認してください。わからない場合は、販売店または、もよりの大阪ガスに連絡してください。

浴槽の循環口をタオルなどでふさがない
穴に物を詰めない



循環口をふさいでおふろを沸かすと、機器内のお湯が沸騰してやけどをするおそれがあります。



(つづく)

必ずお守りください(安全上の注意)-2

(つづき)

警告

使用中や使用直後は、
給排気筒トップ付近に触らない

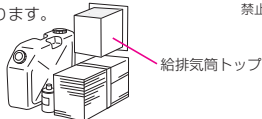


接触禁止

また、機器外装や出湯管などの高温部は触らない
やけど予防のため。

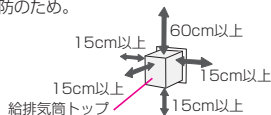
燃えやすい物をまわりに置かない
(洗濯物、新聞紙、灯油など)

火災の原因になります。

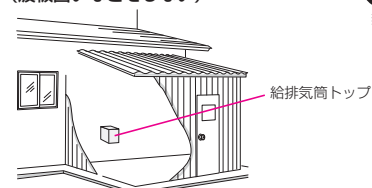


燃えやすい物とは離す(樹木、木材、箱など)

火災予防のため。



増改築などで屋内状態にしない
(波板囲いなどをしない)



一酸化炭素中毒・火災の原因になります。

外壁の塗装や増改築、家屋の修繕時などに給排気筒トップが養生シートで覆われた場合は、機器を使用しない

不完全燃焼や一酸化炭素中毒、爆発着火の原因になります。



使用するときには浴室の窓を閉める

給排気筒トップから出た排気ガスが浴室の窓など開口部から室内に流入し、一酸化炭素中毒の原因になります。



必ずおこなう

循環口近くでお湯の中にもぐらない

髪の毛が引っかかるなど、思わぬ事故の原因になります。



子供だけで入浴させない
子供を浴室内で遊ばせない

思わぬ事故の原因になります。



つまみはマークに合わせて使用する

各つまみはマーク以外の位置で使用する、水圧の変化によって熱いお湯が出る場合があります。また、異常着火して大きな音がしたり、機器が変形することがあります。変形によるすき間ができたときは、使用をやめ修理を依頼してください。そのまま使用すると排気ガスが漏れて一酸化炭素中毒の原因になります。



シャワーなどお湯の使用時は、使用者以外、湯温調節つまみ・能力切替つまみは触らない

やけど予防のため。
子供のいるご家庭では特に注意してください。



屋外に設置しない

雨水が浸入したり、炎が風にあおられたりして、故障や火災の原因になります。



機器本体やガスの接続金具・強化ガスホース・給排気筒トップなどに乗ったりして、無理な力を加えない

ケガや、機器の変形によるガス漏れ、不完全燃焼の原因になります。



スプレー缶やカセットこんろ用ボンベを、機器本体や給排気筒トップのまわりに置かない、使用しない

熱でスプレー缶の圧力が上がり、スプレー缶が爆発する原因になります。



灯油、ガソリン、ベンジンなど、引火のおそれのある物を機器本体や給排気筒トップのまわりで使用しない

火災の原因になります。



ガス配管接続工事には専門の資格、技術が必要のため、機器の設置・移動・取り外しおよび付帯工事は、販売店または、もよりの大阪ガスに依頼する

安全に使用していただくため。



必ずおこなう

お客さまご自身では絶対に分解したり、修理・改造はおこなわない

思わぬ事故や故障の原因になります。



分解禁止

強化ガスホースを、折れたりねじれた状態にしない、機器の下に通さない

ガス漏れの原因になります。



禁止

強化ガスホースがひび割れたり接続部がゆるくなった場合は、販売店または、もよりの大阪ガスに連絡する



必ずおこなう

お出かけやおやすみ時は、必ず消火し、ガス栓を閉める

火災の原因になります。



必ずおこなう

機器から水漏れはないか確認する

思わぬ事故を予防するため。

お隣や階下にも多大な迷惑をかけます。

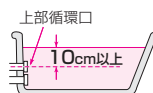


必ずおこなう

注意

お風呂を沸かすときは、上部循環口センサーより10cm以上、お湯(水)が入っているか確認する

空だきによる火災の原因になります。



必ずおこなう

給排気筒トップに指や棒を入れない

故障やケガの原因となります。



禁止

浴槽のふたの上に乗ったり、手をついたりしない

浴槽のふたは蒸気でやわらかくなることがあります。おぼれたり、やけどの原因になります。子供のいるご家庭では特に注意してください。



高温注意

太陽熱温水器とは絶対に接続しない

お湯の温度制御ができなくなり、やけどや機器の故障の原因になります。



禁止

排水口はこまめに掃除する

排水口が詰まると、機器内に水が入って冠水検知装置がはたらくため使用できなくなります。(電池確認ランプが点滅します)修理が必要ですので、販売店または、もよりの大阪ガスに連絡してください。



必ずおこなう

お風呂を沸かしすぎたときは、浴槽のお湯が沸騰して蒸気が噴き出すことがあるので、浴室へ入るときや浴槽のふたを開けるときは注意する

やけど予防のため。



高温注意

お風呂を沸かしすぎたときは、浴槽のお湯が熱い間は絶対にお湯に手や体を入れない

やけど予防のため。



高温注意

ホースを接続しての給湯使用禁止

出湯管の先にホースなどを接続してお湯を使用しないでください。また、給湯配管して給湯栓をつけないでください。お湯が絞られて熱湯が出たり、給湯栓を閉めても燃焼し続けるなど、やけどの原因になります。



禁止

子供を機器の周囲で遊ばせない

思わぬ事故の原因になります。



禁止

給湯、シャワー、お風呂以外の用途には使用しない

思わぬ事故を予防するため。



禁止

機器の点検・お手入れ・水抜きをする場合、たね火消火を確認し、機器が冷えてからおこなう

やけど予防のため。

機器の使用直後は、機器内のお湯が高温になっています。



必ずおこなう

必ずお守りください(安全上の注意)-3

⚠️注意

点火確認窓を外したまま点火操作をしない
一酸化炭素中毒の原因になります。



禁止

機器を使用中(燃焼中)は、ガス栓での消火はしない

異常着火の原因になります。



禁止

出湯管とシャワーを入れ替えて使用しない

安全装置がはたらかなくなり、熱いお湯が出てやけどの原因になります。



禁止

乾電池に関する注意(取り替え機器についてお願い)

機器を取り替えた場合、旧機器は専門の業者に処理を依頼してください。
もしお客さまで旧機器の処理をされる場合、乾電池を使用している機器は、乾電池を取り外してから正規の処理をしてください。

🙏お願い

機器に法定のラベルが貼付されていることを確認する

「特定ガス消費機器の設置工事の監督に関する法律」の対象であり、法定資格を有する者以外、設置・移設できません。

硫黄(イオウ)を含んだ入浴剤は使用しない

入浴剤・ふろがま洗浄剤・洗剤などを使用するときは、注意書きをよく読み、正しく使用する

入浴剤・ふろがま洗浄剤の種類によっては、機器の熱交換器を腐食させる原因になるものがあります。
これらを使用してお風呂を沸かしたときに、異常音が出たり、お風呂沸かしができなくなる場合は、使用をやめてください。
ふろがま洗浄剤の使用に際しては、注意書きをよく読み、正しく使用してください。

塩素系のカビ洗浄剤、塩が機器や強化ガスホースなどに付着した場合は、すぐに水洗いする

機器や強化ガスホースの変質や変色の原因となります。

温泉水、井戸水、地下水で使わない

水質によっては、機器内の配管に異物が付着したり、腐食して水漏れすることがあります。
この場合の修理は保証期間内でも有料になります。

機器や配管に長時間たまった水や、朝一番のお湯は飲まない、調理に使用しない

雑用水として使用してください。

機器の上にヘアピン、カミソリなどの金属製の物を置かない

機器がさび、穴あきなどの原因になります。

つまみの部分になるべく湯・水がかからないようにする

水が内部に入り、故障の原因になります。

浴室に洗濯機などの排水をする場合は、排水が直接機器にかからないように注意する

機器がさび、思わぬ事故の原因になります。

この機器の純正部品以外は使用しない

思わぬ事故の原因になります。

使用時の点火、使用後の消火を確認する

使用中も正常に燃焼しているか確認する

ガス事故防止のため。

機器から使用中および使用後に「ポコン」と音がすることがあります

これは機器外装が熱で膨張・収縮するためにおこる現象で、故障ではありません。

積雪時には給排気筒トップの点検、除雪をする

雪により給排気筒トップがふさがれると不完全燃焼し、機器の故障の原因になることがあります。

断水時は器具栓つまみを「O」にし、給水元栓を閉める

給水元栓を開けたままにしておくと、給水が復帰したときに水が流れっぱなしになります。

断水復帰後の使い始めのお湯は飲まない、調理に使用しない

断水したときは飲用や調理用に適さない水が配管にとどまることがあります。

断水復帰後は、出湯管から充分水を流してから使用する

凍結による破損を予防する(☞P16～17)

暖かい地域でも、機器や配管内の水が凍結して破損事故が起こることがありますので、必要な処置をしてください。
凍結により機器が破損したときの修理は、保証期間内でも有料になります。

長期間使用しない場合、必要な処置をする(☞P16)

凍結および万が一のガス漏れを防止するため。

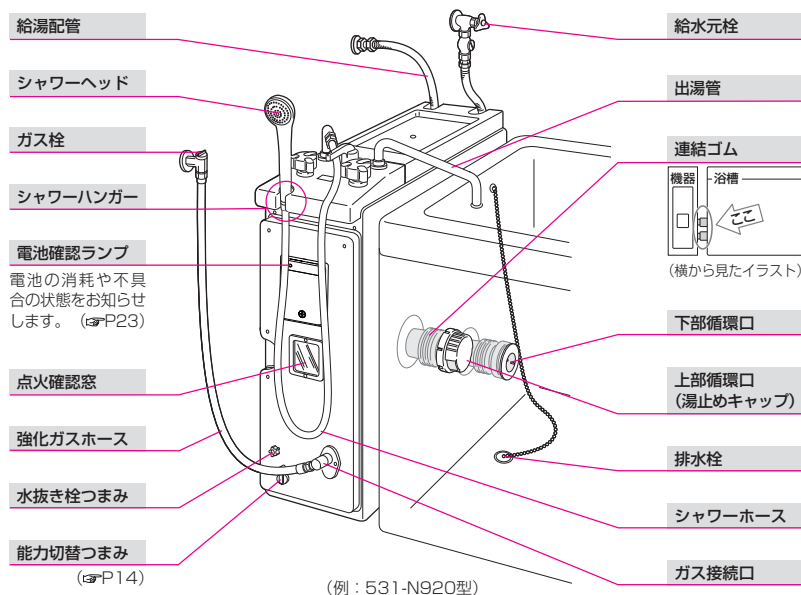
各部のなまえとはたらき

機器本体

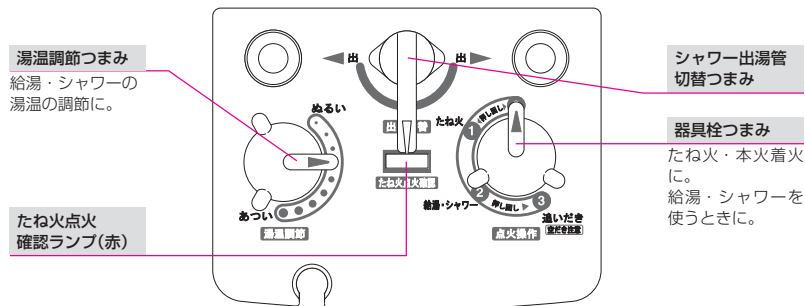
イラストは、機器の右側に浴槽がある場合の施工例です。

配管の位置・形状、給水元栓・ガス栓の位置など実際と異なります。

機器の左側に浴槽がある場合は、能力切替つまみ・循環口・シャワー・出湯管の位置は、左右逆になります。



操作部



電池を長持ちさせるために・・・15分以上使用しない場合は、たね火を消火してください

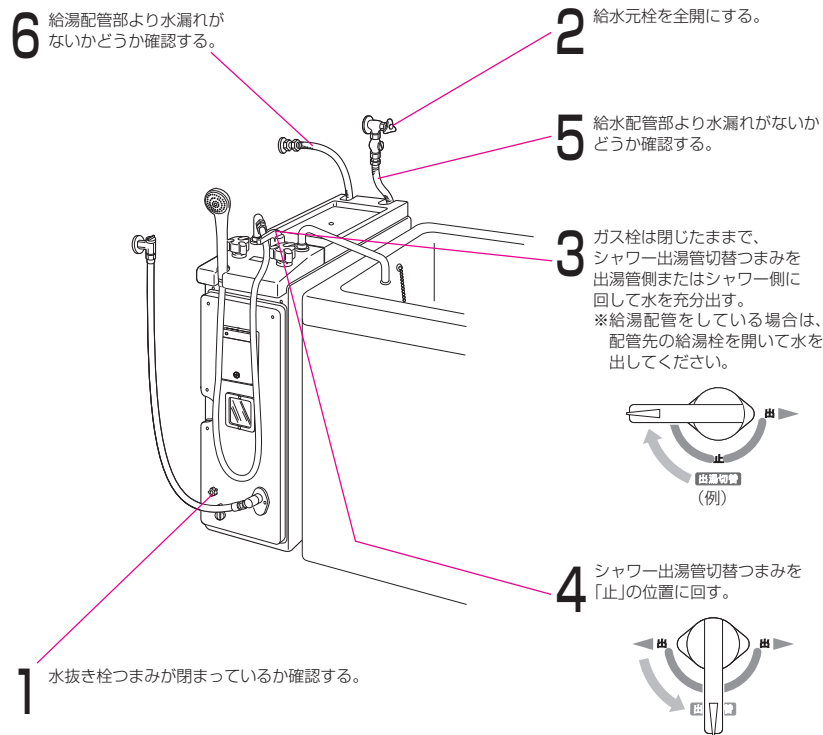
初めてお使いになるときは

初めてお使いになるときは、次の準備と確認が必要です。

イラストは施工例です。配管の位置・形状、給水元栓・ガス栓の位置など実際と異なります。



1～6の手順でおこなってください。

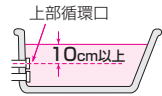

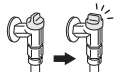
※531-N920型で説明していますが、他の機種でも手順は同じです。



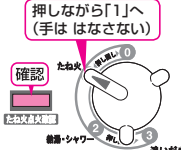
はしめこ

お風呂を沸かす・追いだきする




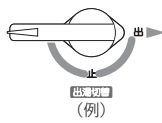

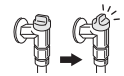
警告	<ul style="list-style-type: none"> 入浴前には、充分お湯をかきまぜる 浴槽の湯温を手で確認してから入浴する お風呂を沸かしているときは、循環口付近が熱くなるので手や体を近づけない 	 使用中や使用直後は、機器外装などの高温部は触らない
やけど予防のため。		
注意	 お風呂を沸かすときは、上部循環口センターより10cm以上、お湯(水)が入っているか確認する	空だきによる火災の原因になります。

操作	お知らせ
準備 <ol style="list-style-type: none"> 電池確認ランプが点灯していないことを確認する(☞P8) 浴槽の排水栓を閉める(しっかり差し込む) 浴槽の上部循環口センターより10cm以上 水(お湯)が入っているか確認する  器具栓つまみを「0」の位置にあることを確認する  ガス栓を全開にする  	

● たね火を点火する

1 器具栓つまみを「0」から「1」へ押しながら回し、たね火点火確認ランプが点灯するまで押し続ける	 <p>押しながら「1」へ(手ははなさない)</p> <p>確認</p> <p>たね火</p> <p>確認ランプ</p> <p>器具栓つまみ</p> <p>通いだし</p> <p>※たね火点火確認ランプが点灯しない場合は、電池確認ランプが点滅することがあります。その場合は、5分以上待ってから電池確認ランプが消灯していることを確認し、再度点火操作をおこなってください。</p> <p>※電池確認ランプが点滅している間は再点火できません。この間に点火操作をくりかえすと再点火できるまでの時間が延長されます。</p>
2 器具栓つまみをはなしても、たね火点火確認ランプが点灯していることを確認する	

* 初めて使用するときは、ガスの配管などに空気がたまっているため、1回で点火しない場合があります。その場合はもう一度たね火の点火操作をくりかえしてください。

操作	お知らせ
● お風呂を沸かす・追いだきする	
1 器具栓つまみを「2」へ回す	 <p>「2」へ</p> <p>たね火</p> <p>器具栓つまみ</p> <p>通いだし</p>
2 器具栓つまみを「3」へ押しながら回す 【本火着火】	 <p>押しながら「3」へ</p> <p>たね火</p> <p>器具栓つまみ</p> <p>通いだし</p> <p>*着火します。</p> <p>*本火着火しない場合は、器具栓つまみを「0」に戻し、5分以上待ってから再度「たね火」を点火するよりやり直してください。</p>
3 適温になったら、器具栓つまみを「3」から「2」、「2」から「1」へ順番に戻す 【本火消火】	 <p>「1」に戻す</p> <p>たね火</p> <p>器具栓つまみ</p> <p>通いだし</p> <p>*たね火のみついています。</p>
● 追いだきをしながら同時にお湯を使いたいとき	
1 器具栓つまみを「3」にあることを確認する	
2 シャワー出湯管切替つまみを 出湯管側またはシャワー側に回す	 <p>出湯管側</p> <p>シャワー側</p> <p>(例)</p>
● 使い終わったら	
1 器具栓つまみを押しながら「0」に戻す 【たね火消火】	 <p>「0」に戻す</p> <p>たね火</p> <p>器具栓つまみ</p> <p>通いだし</p> <p>*たね火点火確認ランプ消灯。</p> <p>*15分以上使用しない場合は、電池を長持ちさせるため、たね火を消火してください。</p>
2 ガス栓を閉める	 <p>※器具栓つまみは「0」「1」「2」「3」のいずれかの位置に合わせてください。(多少ずれることがありますが問題ありません。ただし、中間の位置では止めないでください)</p> <p>※使用中、不快なおいがする、炎に異常がある、点火しにくいなどの場合は、ガス栓を閉め、販売店または、もよりの大阪ガスまでご連絡ください。</p> <p>※入浴剤を使用するときの注意(☞P6)</p>

シャワー・出湯管からお湯を出す

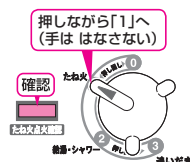
<p>警告</p>	<p>・シャワーなどお湯の使用時は、手で湯温を確認してから使用する</p> <p>・シャワーなどお湯を使用時は、使用者以外、湯温調節つまみ・能力切替つまみは触らない</p> <p>・シャワーなどお湯を使用中に、トイレの水を流すなど大量の水を使用すると、水道の水圧が下がり、熱いお湯が出る場合があるので注意する</p>
<p>警告</p>	<p>使用中や使用直後は、機器外装や出湯管などの高温部は触らない</p>

やけど予防のため。子供のいるご家庭では特に注意してください。

操作	お知らせ
<p>準備</p> <ol style="list-style-type: none"> 電池確認ランプが点灯していないことを確認する(☞P8) 給水元栓が全開になっていることを確認する 器具栓つまみが「0」の位置にあることを確認する ガス栓を全開にする 	

● たね火を点火する

<p>1 器具栓つまみを「0」から「1」へ押しながら回し、たね火点火確認ランプが点灯するまで押し続ける</p>	<p>* たね火点火確認ランプが点灯しない場合は、電池確認ランプが点滅することがあります。その場合は、5分以上待ってから電池確認ランプが消灯していることを確認し、再度点火操作をおこなってください。</p> <p>* 電池確認ランプが点滅している間は再点火できません。この間に点火操作をくりかえすと再点火できるまでの時間が延長されます。</p>
<p>2 器具栓つまみをはなしてもたね火点火確認ランプが点灯していることを確認する</p>	


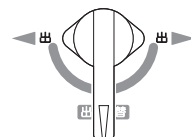
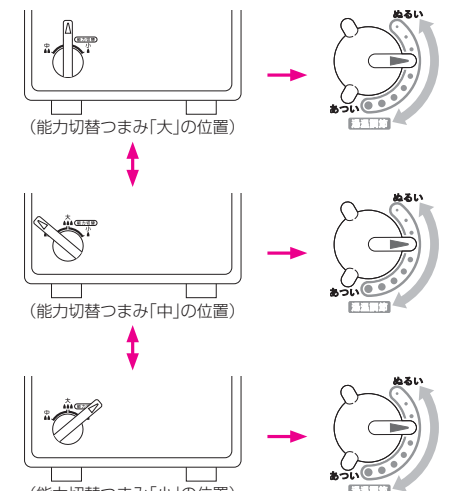


操作	お知らせ
<p>● お湯を出す</p> <p>1 器具栓つまみを「2」へ回す</p>	
<p>2 シャワー出湯管切替つまみを 出湯管側またはシャワー側に回す【本火着火】</p>	<p>* 本火着火して、お湯が出ます。</p> <p>* 本火着火しない場合は、器具栓つまみを「0」に戻し、5分以上待ってから再度「たね火」を点火するよりやり直してください。</p>
<p>● お湯を止める</p>	
<p>1 シャワー出湯管切替つまみを「止」の位置に回す【本火消火】</p>	<p>* たね火のみついています。</p>
<p>2 お湯を使用しないときは 器具栓つまみを「1」に戻す</p>	
<p>● 使い終わったら</p>	
<p>1 器具栓つまみを押しながら「0」に戻す【たね火消火】</p>	<p>* たね火点火確認ランプ消灯。</p> <p>* 15分以上使用しない場合は、電池を長持ちさせるため、たね火を消火してください。</p>
<p>2 ガス栓を閉める</p>	

* 器具栓つまみは「0」「1」「2」のいずれかの位置に合わせてください。(多少ずれることがありますが問題ありません。ただし、中間の位置では止めないでください)

* 使用中、不快なおいがする、炎に異常がある、点火しにくいなどの場合は、ガス栓を閉め、販売店または、もよりの大阪ガスまでご連絡ください。

お湯の温度を調節する



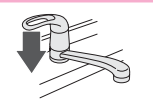
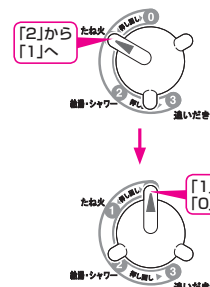
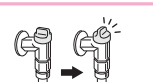
操作	お知らせ
1 湯温調節つまみで調節する 	*「あつい」の方向に回すとお湯の量が少なくなり、「ぬるい」の方向に回すとお湯の量が多くなります。
● 湯温調節つまみで調節しても熱すぎる または ぬるすぎるとき	
1 シャワー出湯管切替つまみを「止」の位置に回し、お湯を止める 	*お湯の使用中に能力を切り替えると、熱いお湯が出る場合があります。
2 お湯の温度が熱すぎるとき 能力切替つまみを「大」から「中」に切り替えて、湯温調節つまみで調節するそれでもまだ熱すぎるときは 能力切替つまみを「中」から「小」に切り替えて、湯温調節つまみで調節する お湯の温度がぬるすぎるとき 熱すぎるときと逆に 能力切替つまみを「小」から「中」、「中」から「大」に切り替えてそれぞれの位置で湯温調節つまみで調節する	*能力切替つまみは「大」、「中」、「小」の位置に確実に合わせてください。途中の位置で使用すると不完全燃焼の原因となります。
	

洗面所などでお湯を出す(給湯配管してある場合)

給湯配管(別途工事)してある場合は、洗面所や台所でもお湯が使えます。

<はじめてお使いになるときは>

給湯配管先の給湯栓を開け、しばらくして給湯栓から水が出ることを確認する。

操作	お知らせ
準備 たね火点火確認ランプが点灯していることを確認する	*たね火点火確認ランプが点灯していない場合は、たね火を点火してください。(P12)
● お湯を出す	
1 器具栓つまみを「2」へ回す 	
2 給湯配管先の給湯栓を開ける【本火着火】 	*本火着火して、お湯が出ます。 *本火着火しない場合は、器具栓つまみを「0」に戻し、5分以上待ってから再度「たね火」を点火するよりやり直してください。(P12)
● お湯を止める	
1 給湯配管先の給湯栓を閉める【本火消火】 	*たね火のみについてはいます。
● 使い終わったら	
1 器具栓つまみを「2」から「1」に回し「1」から「0」へ押しながらかえす【たね火消火】 	*たね火点火確認ランプ消灯。 *15分以上使用しない場合は、電池を長持ちさせるため、たね火を消火してください。
2 ガス栓を閉める 	

凍結による破損を予防する

冬期、冷え込みが厳しく凍結するおそれのある日、または不在などで長期間使用しないときは、次の要領で水抜きをしてください。

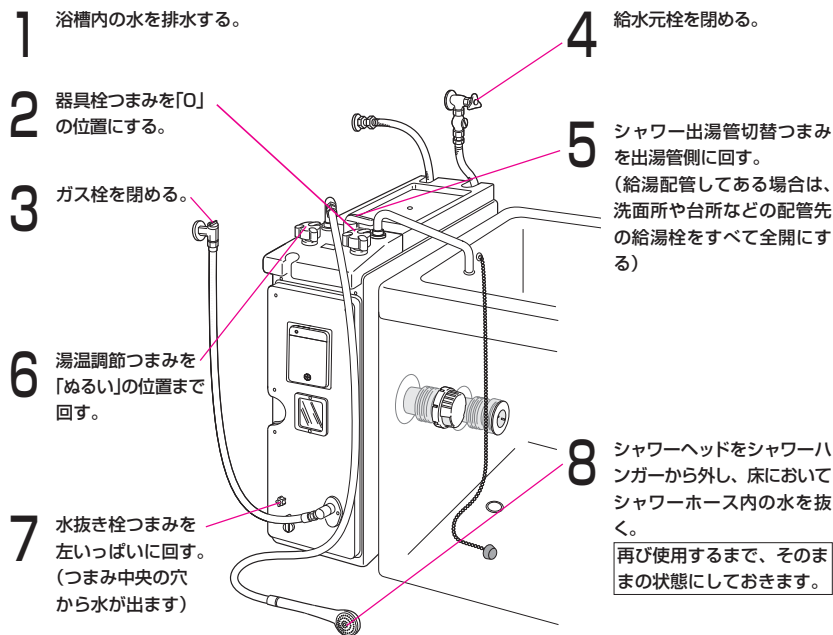
お願い 凍結による破損を予防する

- * 暖かい地域でも、機器や配管内の水が凍結して破損事故が起こることがありますので、以下をお読みいただき、必要な処置をしてください。
- * 凍結により機器が破損したときの修理は、保証期間内でも有料になります。

水抜きのしかた

⚠️注意 機器の水抜きをする場合、たね火消火を確認し、機器が冷えてからおこなう

やけど予防のため。
機器の使用直後は、機器内のお湯が高温になっています。



(例：531-N920型)

水抜き後の再使用のとき

1. シャワー出湯管切替つまみを「止」の位置に合わせる。
2. シャワーヘッドをシャワーハンガーにかける。
3. P9の「初めてお使いになるときは」の手順1～6にしたがってください。

* 水抜き後、初めて使用するときは、ガスの配管などに空気がたまっているため、1回で点火しない場合があります。その場合はもう一度たね火の点火操作をくりかえしてください。(P10)

凍結した場合

凍結した場合は、そのままでは絶対に使用しないでください。機器の故障の原因となります。
出湯管やシャワーから水が出るようになっても、機器や配管から水漏れがないかよく確認のうえ使用してください。
凍結により機器が破損したときの修理は、保証期間内でも有料になります。

日常の点検・お手入れのしかた

△注意 機器の点検・お手入れをする場合、たね火消火を確認し、機器が冷えてからおこなう

やけど予防のため。
機器の使用直後は、機器内のお湯が高温になっています。

点検(定期的)

チェック 給排気筒トップにスガがついていないか？

→ ついていたら、販売店または、もよりの大阪ガスへ連絡する。

チェック 給排気筒トップのまわりに洗濯物・新聞紙・木材・灯油・スプレー缶など、燃えやすい物を置いていないか？

→ 燃えやすい物を置かない。

チェック 給排気筒トップが外れたり、穴が開いたり、詰まったりしていないか？

→ 現象があった場合は、販売店または、もよりの大阪ガスへ連絡する。

チェック *強化ガスホースが、折れたりねじれたりしていないか？機器の下に通っていないか？
*強化ガスホースが、ひび割れたり接続部がゆるんだりしていないか？
*強化ガスホースが、古くなっていないか？

→ 異常があったら早めに交換してください。(販売店または、もよりの大阪ガスにご相談ください)

チェック *機器外装に異常な変色や変形はないか？
*機器外装の下部周辺などにサビや穴開きはないか？
*運転中に機器から異常音が聞こえないか？
*機器・配管・連結ゴムから水漏れはないか？

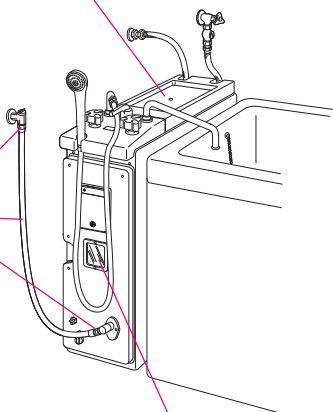
→ 現象があった場合は、販売店または、もよりの大阪ガスへ連絡する。

チェック 給排気筒トップがほこりなどでふさがっているか？

→ ふさがっている場合は、掃除する。

チェック 機器の上にヘアピン、カミソリなどを置いていないか？

→ 金属製の物を置かない。



チェック 点火確認窓が汚れてくもっていないか？

→ 汚れている場合は、表面を掃除する。

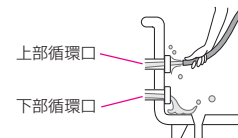
● 定期点検のすすめ(有料) ●

ご使用上支障がない場合でも、不慮の事故を防ぎ、安心してより長くご使用いただくために、年1回程度の定期点検をおすすめします。販売店または、もよりの大阪ガスにご相談ください。

お手入れ(こまめに掃除)

● 機器内部 ●

1. 上部循環口の湯止めキャップを外す。
2. 循環口へ水道からのホースを近づけ、先をつまんで勢よく水を出す。
3. 上部循環口、下部循環口と交互に水洗いして、機器内部をきれいにする。
4. 上部循環口に湯止めキャップを元どりに付ける。



* 雑菌などが気になる場合は、市販のふろがま洗剤(2つ穴用)をお試しください。(ふろがま洗剤の説明書に従って正しく洗浄してください)

● 機器本体 ●

* お手入れの際は、手袋などで手を保護するなどケガをしないように気を付けてください。
* 使用後、乾いた布で本体外装についた水分をふき取ってください。(タワシやブラシなどでこすらないでください)
* 点火確認窓は、炎がよく見えるようにときどきふいてください。
* 海に近く潮風が当たりやすい地域の場合、潮風によって、給排気筒トップにサビが発生する場合があります。サビがひどい場合は、機器本体内部への影響も考えられますので、点検(有料)をおすすめします。
* 万ーサビが浮き出た場合は、乾いた布でふき取ってください。そのまま放置するとサビが進行しますのでご注意ください。

● 浴室 ●

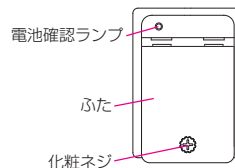
* 浴室は湿気が多いので、使用後は必ず窓などを開け、換気をよくしてください。
* 浴室の排水口をよく掃除して、排水が充分おこなえるようにし、本体の底部が水に浸からないようにしてください。排水口が詰まると、機器内に水が入って冠水検知装置はたらくため使用できなくなります。(電池確認ランプが点滅します)修理が必要ですので、販売店または、もよりの大阪ガスに連絡してください。

お手入れ(電池交換のしかた)

電池確認ランプが点灯したら電池の寿命ですので、早めに交換してください。

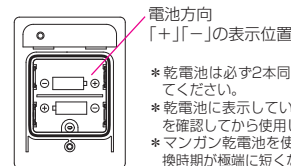
1 【乾電池を外す】

- ① 電池ケースの化粧ネジをゆるめ
ふたを下へずらしながら開ける
(化粧ネジは外さないでください)
- ② 乾電池を取り出す



2 【乾電池を入れる】

新しい乾電池(アルカリ乾電池単1形)2本を「+」「-」の表示にしたがって正しく入れる



* 乾電池は必ず2本同時に新品と交換してください。
* 乾電池に表示している「使用推奨期限」を確認してから使用してください。
* マンガン乾電池を使用した場合は、交換時期が極端に短くなります。

3 ふたを元どりの位置に戻し、電池ケース内に水が入らないように化粧ネジをしっかり締める

法定点検について

お買い上げいただいた製品は、消費生活用製品安全法（消安法）の長期使用製品安全点検制度で指定された特定保守製品です。

● 特定保守製品とは ●

「消費生活用製品のうち、長期間の使用に伴い生ずる劣化（経年劣化）により安全上支障が生じ、一般消費者の生命又は身体に対して特に重大な危害を及ぼすおそれが多いと認められる製品であって、使用状況等からみてその適切な保守を促進することが適当なもの（消安法第2条第4項）」として指定された製品です。

● 法定の点検期間になったら点検を受けてください ●

- ・特定保守製品は、経年劣化による重大事故を防止するために、設計標準使用期間に基づいて製品ごとに設定された点検期間中に点検を受けることが、製品の所有者の責務として求められています（消安法第32条の14）。本製品に表示している点検期間になりましたら、必ず点検を受けてください。（点検は有料です）
- ・なお、法定点検の後でもご使用を継続する場合には、こまめに点検を受けることが本製品を安全にお使いいただくために必要となりますので、ご注意ください。
- ・法定点検は、その時点で点検基準に適合しているかどうかの確認であって、その後の安全を担保するものではありません。

● 法定の所有者登録をしてください ●

- ・特定保守製品の所有者は、この製品の製造（輸入）事業者が法定の所有者登録をすることが求められています（消安法第32条の8第1項）。
- ・製品に同梱している「所有者票」に記載している（所有者情報の登録方法）に従って、ご登録をお願いします。
- ・ご登録いただいた所有者情報は、消安法、個人情報保護法および当社規定により適切な安全対策のもとに管理し、法定点検やリコール等の製品安全に関するお知らせをする場合以外には使用いたしません。

● 登録していただいた所有者情報に変更がありましたらご連絡ください ●

- ・所有者情報に変更があった場合、この製品の製造（輸入）事業者に変更の連絡をすることが求められています（消安法第32条の8第2項）。
- ・引越しなどで所有者情報に変更がありましたら、速やかに「所有者票」に記載している（所有者情報の登録方法）に掲げる点検連絡先にご連絡ください。
- ・ご連絡いただかない場合、法定点検やリコール等の製品安全に関するお知らせが正しく届かないことがあります。

● 法定の点検通知をいたします ●

- ・法定の所有者登録をしていただいた方に、登録情報に基づいて点検期間の開始前に法定の点検通知をいたします（消安法第32条の12）。
- ・点検期間については、製品本体の表示、もしくは製品に同梱している「所有者票（お客さま控え）」をご覧ください。

【本製品の設計標準使用期間について】

本製品は、設計標準使用期間*を10年と算定しており、適切な点検をすることなく、この期間を超えて使用すると、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

*設計標準使用期間とは、標準的な使用条件の下で、適切な取り扱いで使用し、適切な維持管理がおこなわれた場合に、安全上支障なく使用することができる標準的な期間として設計上設定される期間で、製品ごとに設定されるものです（消安法第32条の3）。

「保証期間」とは異なるのでご注意ください。（保証期間は保証書を参照願います）

＜設計標準使用期間の算定の根拠＞

本製品の設計標準使用期間は、次のように設定しています。

- 1）始期……製造年月
- 2）終期……JIS S 2071または、JIS S 2072の「標準使用条件」に基づいて想定した以下の使用条件にて、当社において耐久試験等をおこない、その結果算出された数値等に基づいて、「経年劣化により安全上支障が生ずるおそれ著しく少ないこと」を確認した時期

■使用条件（給湯）

項目	条件
1. 家族構成	4人世帯
2. 季節	中間期（春・秋）
3. 気温・湿度	20℃・65%
4. 電源電圧	DC3V（単1乾電池2個）
5. 給水温度	15℃
6. 出湯温度	40℃
7. 1日使用量	456リットル
8. 1日使用時間	1時間
9. 1年使用日数	365日

■使用条件（ふろ）

項目	条件
1. 家族構成	4人世帯
2. 季節	中間期（春・秋）
3. 気温・湿度	20℃・65%
4. 電源電圧	DC3V（単1乾電池2個）
5. 給水温度	15℃
6. 沸き上がり温度	40℃
7. 入浴回数	毎日
8. 沸き上がり回数	1回／1日
9. 追いだし回数	3回／1日
10. 浴槽水量	180リットル

● 点検について ●

法定点検は、大阪ガスまたは大阪ガスが委託した事業者がおこないます。

【点検の内容について】

- ・特定保守製品について、点検期間中に点検基準に従って実施する有料の法定点検です。
- ・点検基準は消安法省令に定められており、製品区分ごとに点検項目・点検内容が定められています。
- ・点検の結果は、点検結果表にてお知らせします。
- ・点検の結果、不適合となった場合には可能な限りの選択肢をお知らせします。この場合、整備（修理を含む）をおこなって使用を継続するかどうかはお客さまの判断となります。

【点検の料金について】

点検料金は、お客さまにご負担いただきます。また、点検の結果、整備が必要となった場合は、別途整備費用（有料）が発生いたします。

点検料金は技術料、出張料などを合計した金額となります。

なお、点検料金の設定の基準等や、点検要請に対して速やかに対応できるよう配置しておりますサポート拠点については、下記のアドレスからご覧いただけます。

<http://www.osakagas.co.jp/>

インターネットでご確認できない場合は、下記「本製品の点検等に関するお問い合わせ先」にご連絡ください。

【本製品の点検の結果必要となると見込まれる整備用品の保有期間】

整備用品とは、法定点検の結果、不具合が認められた場合に、安全性を確保（回復）させるために必要な部品であり、補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）とは異なります。

- (1) 点火・消火装置に関する部品：製造打切後11年
点火プラグ・イグナイター・フレームロッド
- (2) 水・湯・ガス通路に関する部品：製造打切後11年
サーミスター・パッキン・Oリング
- (3) 安全装置に関する部品：製造打切後11年
ハイリミットスイッチ・温度ヒューズ・熱湯遮断弁

*補修用性能部品の保有期間はP24をご覧ください。

本製品の点検等に関するお問い合わせ先

大阪ガスお客さまセンター

Telフリーダイヤル 0120-0-94817

【受付時間】（月～土）：9：00～19：00

（日・祝）：9：00～17：00

お湯・シャワー

おふろ

不具合が生じたとき、機器前面の電池確認ランプが点滅してお知らせします。
下表に応じた処置をしてください。

必要に応じて

- *上記の処置をしてもなお電池確認ランプの点滅をくりかえすとき
- *その他、わからないとき

アフターサービスについて

サービスを依頼されるとき

P22～23の「故障・異常かな?と思ったら」を調べていただき、なお異常のあるときは、販売店または、もよりの大阪ガスにご連絡ください。

● 連絡していただきたい内容 ●

＊型番 (機器正面に貼り付けてある銘板
または保証書をご覧ください)

【銘板の例】



＊異常の状況

(電池確認ランプの状況(ランプP23)など、できるだけくわしく)

＊ご住所・ご氏名・電話番号

＊訪問ご希望日



保証について

取扱説明書の最終ページに保証書がついています。

保証書に記載されている保証期間・保証内容をよくご確認のうえ、大切に保管してください。

無料修理期間経過後の故障修理については、修理によって機能が維持できる場合、有料で修理いたします。

補修用性能部品の保有期間

この製品の補修用性能部品の保有期間は、製造中止後10年です。

但し、保有期間経過後であっても補修用性能部品の在庫がある場合は、有料修理いたします。

なお、補修用性能部品とは、製品の性能を維持するための部品です。

移設される場合

転居などで機器を移設されるときは、機器(銘板)に表示してあるガスの種類が移設先と合っているか必ずご確認ください。

不明のときは、移設先的气体事業者・販売店または、もよりの大阪ガスにご相談ください。

ガスの種類の異なる地域へ移設されるときは、機器の改造・調整が必要です。この改造・調整に伴う費用は、保証期間中でも有料です。

＊ガスの種類によっては改造・調整ができない場合があります。

主な仕様

- ・本仕様は改良のためお知らせせずに変更することがあります。
- ・出湯量はおよその計算値です。
- ・ガスはJISに規定する標準ガス、標準圧力での値です。

仕 様 表

型番	531-N920型, 531-N921型		
型式名	GBSQ-821D		
外形寸法 (mm)	高さ693×幅250×奥行605		
質量 (本体) (kg)	19		
接続口径	給湯	R1/2	
	給水	R1/2	
	ガス	TU接続 R1/2	
使用水圧 (MPa)	0.07～0.75 (0.7～7.5kgf/cm ²) <推奨水圧約0.15～0.75 (約1.5～7.5kgf/cm ²)>		
最低作動流量・水圧	湯温調節つまみ 全開時	6.6L/分・49.1kPa (0.5kgf/cm ²)	
	全閉時	2.3L/分・34.3kPa (0.35kgf/cm ²)	
点火方式	放電点火式		
電源	DC3V (単1乾電池2個)		
安全装置	立消え安全装置、空だき安全装置、過熱防止装置、凍結予防装置 (水抜き栓)、過圧防止安全装置、残火安全装置、熱湯遮断弁		

型番	531-N916型, 531-N917型		
型式名	GBSQ-621D		
外形寸法 (mm)	高さ693×幅230×奥行605		
質量 (本体) (kg)	18		
接続口径	給湯	R1/2	
	給水	R1/2	
	ガス	TU接続 R1/2	
使用水圧 (MPa)	0.07～0.75 (0.7～7.5kgf/cm ²) <推奨水圧約0.15～0.75 (約1.5～7.5kgf/cm ²)>		
最低作動流量・水圧	湯温調節つまみ 全開時	6.6L/分・49.1kPa (0.5kgf/cm ²)	
	全閉時	1.8L/分・34.3kPa (0.35kgf/cm ²)	
点火方式	放電点火式		
電源	DC3V (単1乾電池2個)		
安全装置	立消え安全装置、空だき安全装置、過熱防止装置、凍結予防装置 (水抜き栓)、過圧防止安全装置、残火安全装置、熱湯遮断弁		

能 力 表

＊型番は仕様表を参照してください。

型 式 名		GBSQ-821D							
使 用 ガ ス		1時間当りのガス消費量(最大消費量) (kW)			出湯能力(最大時)(L/分)				
		ふろ追いだし	給湯能力大	同時使用	水温+15℃上昇		水温+25℃上昇		水温+40℃上昇
					中	小	大	中	大
都市ガス用	13A	8.40	18.6	26.5	7.3	3.8	8.5	4.4	5.3
LPガス用		8.40	17.5	25.6	6.7	3.4	8.0	4.0	5.0

型 式 名		GBSQ-621D							
使 用 ガ ス		1時間当りのガス消費量(最大消費量) (kW)			出湯能力(最大時)(L/分)				
		ふろ追いだし	給湯能力大	同時使用	水温+15℃上昇		水温+25℃上昇		水温+40℃上昇
					中	小	大	中	大
都市ガス用	13A	9.90	14.5	24.0	7.5	3.8	6.5	4.5	4.1